

恋愛（不倫）占い

はじめまして、こんにちは。KEY&DOORのHAMAです。相談内容からすると、客観的にみて不倫ですが、Kさん本人にとっては恋愛なので、恋愛と相性を中心に進めていきたいと思います。不倫だろうが、浮気だろうが、略奪愛であろうが、恋愛は恋愛であり、Kさんと彼は肩書きを捨てれば、男と女である、ということを前置きしたうえで始めたいと思います。

Kさんの恋愛

まずは、Kさん自身の恋愛運をみていきます。

現在は旦那と彼がいらっしゃるみたいですが、はっきり言わせて、Kさんは3人同時でもいいくらいです。もしも、もう一人アプローチがあればつき合ってもOKです。

というのも、モテ運が強いのと、Kさんの人間関係において「パートナー」「友達」「子供」に対して求めるべき関係を「恋愛としての男」が担当するとでています。つまり、友達とするコミュニケーションや、子供に求めるような希望や夢や楽しさや面倒見がいを男性に求めるということです。逆に男性に対して「父性（心の支え）」「母性（甘え）」「価値観一致」などは必要な条件ではありません。「パートナー」が「恋愛としての男」というのは当たり前前に思えるかもしれませんが、「パートナーには恋愛感情がいつまでも必要」ということです。旦那がすでに恋愛の相手ではないなら、その条件を満たしてはいないということになり、別の恋愛の相手が必要です。

僕は当然ながらKさんの顔を見たことはありませんし、会ったこともありませんが、同じ条件の女性よりはモテやすく、男性は友達や同僚ではなく、女としてKさんを意識しやすいのだろうと想像します。現実的に、ルックスやスタイルやファッションや化粧や仕草など、女性らしさがなければ男性は寄ってきませんが、同じようなルックスやファッションで同じくらい努力をしても、魅力に違いがあります。Kさんは他の女性よりもモテ運が強いのです。

少し話がそれましたが、「パートナー」「友達」「子供」が恋愛だと書いたのですが、これを少し解説しますと、男性の条件として「触れ合える恋愛」「友達として気軽に遊べる」「年下」があります。ルックスや身長など自分で思う条件とは別で、運勢上の条件ということです。簡単に言えば、「遠距離ではなく触れ合えて、相談や会話などコミュニケーションもとれて、年下」というのベストです。まあ、触れ合える恋愛は遠距離じゃなく、ある程度の自由時間があれば叶いますね。年下というのは、年下限定ではなく、年上でも女性から見て「母性をくすぐられる～」という相手ならOKです。まあ、だいたいの方は年齢の意識が入りやすく、年下ということがわかるだけで年下扱いをする傾向が強いようには思います。友達として話せるかどうかは相性とその人の人柄によりますので、そこは選びましょう。

彼

生年月日から計算すると15歳年下なんですね。独身で、彼曰く「彼女はいない」のですね。彼は運勢的にみて、結婚運は薄く、恐らくデキ婚か、よほど女側が結婚を強行しな

い限り結婚はしないでしょう。彼は恋愛の条件として「母性」と「主導権の明け渡し」があります。

解りやすく言えば、マザコンであり、優柔不断で受身であるということです。

しかし、これはKさんとの関係においては悪いことではありません。

マザコンというのは、そもそも年上女性に惹かれやすく、彼は15くらいの年の差ならむしろOKでしょう。Kさんは「年の差がありすぎる。遊ばれているのではないか？」と懸念しているようですが、彼から見ればそれは「考えすぎ」で片付けられることでしょう。優柔不断の受身というのも悪くなく、Kさんの男の条件に「友達」としてのコミュニケーションがあったのですが、これを叶えられる男性のタイプはゲイか、「聞き役」ができる受身な男です。これは現実を考えた時に、たいがいの男性は「聞き役」がヘタクソな人が多く、しかも女性の話は苦痛になりやすいものです（男からすれば、起承転結もなければ、感情的で話のスジ道がわかりにくく、気まぐれに飛び回り、結局どうしたいのか意味不明）。そういう現実にあって聞き役ができる彼はKさんに合います。また不倫を続けるにはフリーな方（この場合は彼）が家庭のある方（Kさん）のペースに合わせる必要がありますから、これも一致します。トータルで見て、彼は、この関係においてかなり良い条件を備えています。

相性

さきほどの彼の資質をみるとかなり良いのですが、男女の相性とはまた別です。しかし、男女としての相性を見た場合においても、彼とは男女としての相性が良いです（生々しく言えば体の相性ってことです。これは技術とは関係なく、感覚で言えば「なぜかわからないけど合う」という感じで「離れていても、もし別れてもずっと残る」というところ）。確率で言えば、1/6です。これは周囲に溢れる男性の6人に1人という割合ではなく、あくまで男女関係があった中のもので、6人関係して1人の割合で良いということです。%表記なら16%で、この方がなかなか少ない確率であることがわかるかもしれませんね。

男女として良いことがわかった上で、では合わない所と注意点を書いてみますね。

まずは「生活はしない方がよい」「お互いに別の異性がいても責めない」です。

Kさんは相手に多くを求めやすく、彼は結婚のような生活にしばられることが合わないので、もしも「旦那と別れて結婚しよう」という話になったら「NO」です。Kさんは恐らく彼に魅力を失い、別の男とつき合うことになるでしょうし、彼はそもそも結婚を「紙切れだけの重荷」として他の気楽な相手と浮気するでしょう（別にこれはKさんの離婚を止めるために言っているわけではなく、離婚はしたかったらすればいいのです）。例えKさんが独身でも結婚はおすすめではありません。また、お互いに束縛は盲目期間中ではアリだとしても、それが終われば「アリエナイ」ので、嫉妬心が出ればスパイスとして「会える時間を充実させる」ために使いましょう。会いたくても会えなかったり、障害がでることは悪いことではなく、恋愛を燃やし続ける材料と考えていただければ良いかと思います。逆に何もかも手に入れて満足してしまうと飽きてつまらなくなる関係もあります。

今後7年間の時の流れ

2014年

Kさんの方は「遊びや快樂」の時間であり、プライベート運で、「物事の広がり」がありますので新しい出会いが予想されます。自分の気持ちがOKならおつきあいされてもいいでしょう。悪い意味で言えば物事が自分の手から離れて進むのでコントロールが効かなくなるとも言えます。ミスや悪いことは早めの対処が大切です。

彼は健康への注意と、プライベートへの邪魔や障害が考えられます。女関係で少しトラブルがあるかもしれません。失恋が考えられます。彼がKさんだけとつき合っているならKさんが捨てる可能性が考えられます。

2015年

Kさんの方は恋の時期となり、プライベートでは問題も特にありません。

彼は古きを壊して新しきへ進む「心機一転」が考えられます。これは恋愛に限らないことですが、とりあえず何かを壊したがる時間なので、もしも別れがあったとしても、またやり直す（というか、「もう一度出会う」と言った方が上手く行く）ことはできそうです。

2016年

Kさんは特筆すべきことはありません。出会いがいつもより増えそうです。

彼もバランスがとれていて比較的平穏な時間でしょう。

2017年

Kさんに「心と現実の不一致」があり、好きだけど別れる等、意図と逆のことが起こりやすくなります。心変わりや感情の移り変わりも考えられます。不安定な年となるでしょう。逆にいつもと違うことができる年でもあるので、普段ありえないことをしてもいいでしょう。

彼はモテ期でありスピード婚（デキ婚など）も考えられます。新しい出会いと相手の要望で仕方なくKさんとの時間がとれなくなったり、相手のためにKさんと別れるということは考えられます。二人ともに別れる要素があるので、ここが近いうちでの山場でしょう。

2018年

Kさんの方はモテ期と仕事期が重なります。多忙が予想されます。

彼には婚期が到来し、また仕事による環境の変化もありそうです。今までと違う人生を歩むことが考えられます。この年はお互いに仕事のために会えなくなりそうです。

2019年

引き続きKさんはモテ期と仕事期です。

彼も仕事の多忙です。

2020年

この年は「落とし穴」です。不倫がバレる恐れが高まります。自分が意図しない思わぬ失敗がありそうです。慎重になることが大切です。また、関係を失うこともあるでしょう。その場合は追いかけて流れにまかせましょう。追いかけることでより遠のいてしまうで

しょう。我慢というか、事なかれ主義で生きられるのがよいです。それと家族関係なども注意で、自己主張よりも事なかれで流すことが吉です。まあ、時間のせいだと思って開き直ってもいいでしょう。逆に、この年までに別れなどがあれば、ここで復縁や意外な出会いなど思ってもないラッキーも考えられますが、やはりバレないように注意が必要です。

終わりに

Kさんはいくつになっても女として生きることがおすすめです。母親や妻ではなく、女として、です。旦那が女として扱ってくれないのであれば、他に男を作るのは占いの的にはアリです。そうでなければ旦那に多くを求めてそれが叶わないということで勝手に嫌になっていくことが予想されます。そうならないように、気持ちの分散という意味で他の男に恋愛を求めるのは必要悪というところでしょうか。ただ、それを堂々とやっては現実的に非難や損失もあるでしょうから、周りのためにちゃんと嘘をついてあげてください。周囲の期待に素直に従えば自分の気持ちに嘘をつくことになるでしょうし、自分の気持ちに正直に生きようと思うなら周囲には嘘をつかなければいけません。どちらにしても嘘があり、それが周囲か自分かどちらに向くかだけです。

僕は一人の女としての K さんの恋愛を尊重します。十代や二十代でも恋愛ができない人もいるし、K さんも恋愛どころではない時間も過ごしたことであるのではないでいしょうか。恋愛ができるというのは嬉しいことです。そして羨ましいことです。

2014. 1. 21 HAMA